



すべての男女が自立した対等なパートナーとして、

個性と能力を発揮しながら、いきいき暮らす

「男女共同参画社会」の実現を目指して

男女いきいき蒲郡

その10

企画調整課 ☎66♦1162

Eメール kikaku@city.gamagori.lg.jp

私たちはふだん、「僕は男だから」とか「女だから、こうしなくちゃ」と意識して生活している人はいません。しかし、「男(女)」とはこういうものだ」と無意識のうちに男女という性別に縛られている部分が多くみられます。そして、そのことを特に疑問に感じていないと思われます。家庭や職場、地域などで、私たちの行動を一度、見直してみませんか。

これからの男女のあり方

日ごろ、私たちが見聞きしているテレビや新聞などの情報は、知らず知らずのうちに、私たちの意識の中へと浸透しています。

テレビを例にとってみましょう。ドラマでは、スーツを着て働く男性や、台所で料理をする女性の姿がよく登場します。その一場面だけでは、特に問題はないと思われます。しかし、そうした場面を何度も繰り返し見ることによって、「外で働くのは男性、家で家事をするのは女性」というイメージが見る人に刷り込まれていく可能性があります。

また、こうしたイメージは何の疑問もなく世間一般に受け入れられています。それは、私たちが今までの男女のあり方について、深く考えたりすることもなく「こういうものだ」と思い込んでいくことにも原因があります。

核家族化や結婚しない男女の増加などで、現代の家族形態はさまざまです。今まで「当然のこと」と思われてきた男女のあり方について、いくつかの点から考え、見つめ直してみましよう。